学校法人
盛岡幼稚園
内丸学園
園報

第274号
(5月)
2025

豊かな思考力の芽生えを育む

学校法人内丸学園　理事長　坂本　洋

新年度を迎えた幼稚園部の各学年は、これまで積み重ねた育ちのうえに本年の課題を折り込んだ指導案を作成し実施しております。

その概略は、保護者の皆様へもわかりやすいポートフォリオ形式にした方法で、各学年の年間指導計画として幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿等を入れてお渡しして、年間を通し育む内容を共有しご理解いただき、当園とご家庭との子どもの育ちの連携を深める一助としております。（０歳～２歳の未満児保育部も作成してお渡しします）

幼児教育の根幹目標は、環境を通しておこなう教育、遊びが学びに結びつく教育を通して、幼児期から継続しなければいけない必須の資質や能力の育ちとして、次の３つを基本とします。①知識・技能の基礎を培い、②思考力、判断力、表現力の基礎を育て、③学びに向かう力、人間性等の向上が、基礎的な教育目標と定められております。

さてこのような中で、年度初めにあたり②の当園での幼児期における豊かな思考力の芽生えについて、地頭（じあたま）が良い子どもに育ってほしい願いもあり、自分で考える力、発想力を兼ね備える子どもの育ちにつき、当園で実施する具体的な指導の内容を述べたいと思います。

乳幼児期の子どもは、発達と共に自ら考える素地「なぜ?」「どうして?」「何だろう?」の好奇心、探求心の素地を持っており、日常の出来事や自然の変化に接して興味や関心を持ち自ら関わろうとします。従って先ずはそれを発揮できるような保育環境を意図的に与えることが肝要です。

幼児期は、基本的に自らの周囲の環境に好奇心をもって主体的に関わりながら、新たに子ども自身体験し発見をしたり、もっと面白くなる方法を考えたりする中で育ちます。ですから保育者は、子どもが自発的に遊び活動する環境を作り、子どもと同じ目線を大切に、子ども自身の生の声に耳を傾ける。更には子どもの思いに共感する、そして子どもの発達に合わせる言葉がけを心がけます。

そうすることが思考力の芽生え、自分で考える力、工夫する力を豊かに育てることに寄り添うことと考えます。

保育者としての大切な姿勢や留意スキルは、耳を傾け子どもが発する共感する思いや言葉そのものをしっかり受け止め保育者自身がゆっくり同じ言葉で反復してあげることを多用します。子どもの生の声を繰り返すことは、子ども自身の思いや考えを改め、気付かせ深める効果があるといわれます。

そして制限を設けず色んな考え、姿勢、答えは一つでなく色々あるよ。の対応や質問が必要なことを重視します。

また幼児期には子ども自身がその時に表現できない共感する感情を、保育者が具体的な言葉で言ってあげることも必要で、そのことで子ども自身の思いが言葉として表す幅が広がり、語彙数の獲得となり言葉への興味が湧くといわれます。

『　笑顔がいっぱい！　』

つばみ（1歳児）

愛着関係を大切にしながら、たくさん遊び、元気に過ごしたいと思います！

指導保育教諭 ◎林崎裕子　古里美香　阿部千宗　中村美和子

いちご（2歳児）

にこにこ楽しく！
子ども達と一緒に
笑顔あふれる１年に
したいと思います☺

齋藤純礼　◎湯川千尋　新田智恵子　指導保育教諭 舟越恵子

Aクラス（5歳児）

園生活最後の大切な１年が
心に残る思い出となるよう、
子ども達と一緒に楽しく
元気に過ごしていきます！

小林弘子　◎古舘雪乃　新沼弥英

職員室

保護者の方々と共に
子ども達の健やかな育ちを
支えていきたいと思います。

主幹保育教諭 田口千聖　園長 津川哲二　理事長 坂本　洋　副園長 吉田房子　指導保育教諭 佐々木紫　事務指導主任 菅原範子　事務補助 菊池　泉

給食室

子ども達に「おいしい！」と喜んでもらえるような給食づくりをしていきたいと思います！

栄養士 柏原みゆき　栄養士 伊藤晶子　調理員 舟越ヤエ

ふたば（0歳児）

たくさんの「はじめて」を先生や友だちと一緒にたくさん経験し、毎日楽しく過ごしたいと思います！

看護師 石田千亜紀　◎相原恵津子　面来千夏

Cクラス（3歳児）

園生活の中で、好きなこと・楽しいことをたくさん見つけられるように過ごしていきたいと思っています！

C2 瀧山茉保　◎C1 齊藤　綾　渡辺留美子

Bクラス（4歳児）

元気いっぱいの子ども達と一緒に、たくさん遊んで楽しい思い出を作っていきたいと思います！

小國幸子　◎指導保育教諭 竹岡真美　齋藤由紀乃

令和7年度 職員紹介

◎は学年主任

卒業式

たくさんの思い出を胸に盛岡幼稚園から巣立っていきます。
小学校でも頑張ってね。

クリスマス会

クリスマスってどんな日？を知りながら当日を心待ちに過ごします。Ａクラスは気持ちを一つに聖誕劇を発表します。

作品展

毎年テーマを決めて各クラスで作品を作って展示します。
以上児はもちろん、未満児も真剣に取り組みます。

運動会

仁王小学校をお借りしての運動会！
かけっこ、ダンス、マット取り…
Ａクラスのリレーは毎年大盛りあがりです。

卒園生のつどい

すっかり小学生のお兄さんお姉さんになった卒園生。懐かしい友達や先生と一緒に楽しい時間を過ごします。

入園式

ドキドキわくわくの
入園式。
毎日楽しく過ごそうね！

盛岡幼稚園の一年 ～こんな行事があります～

この頃の子どもたち・・・

～Aクラス　イルカショー～

4月上旬。家族で水族館に行った経験から、イルカになりきって遊んでいたSちゃん。
そんなSちゃんの様子を見ていた子どもたちから・・・

「ぼくも見たことある！」
「ジャンプしていたよ！」
「それ、イルカショーだよね！」

という声があがりました。子どもたちの楽しそうなやりとりを聞いていた担任は、“ごっこあそびにつながるチャンス！”と、イルカのお面作りを提案しました。
すると次々に・・・

「イルカショーの水は？」
「イルカショーの人、笛吹いてた！」
「お客さんは？」「エサは？」
「チケットは？」

子どもたちからイメージとアイディアが集まってきました！

イルカショー開催！！
楽しい音楽に合わせて、イルカたちがかわいく踊ります♪

手作りの笛を吹いて、合図！

Bクラス・Cクラスがお客さん！

ブルーシートを水に見立てて・・・

4月の行事から

入園式

4月9日(水)第一一八回入園式が行われました。お家の方と一緒に式に参加し、29名の子どもたちの入園が許可されました。
式の中では、Aクラスが園歌を披露し、元気な歌声で入園を歓迎しました。これからどのような園生活が始まるのか、ドキドキしている子どもたちだと思いますが、「つねによろこぶべし」という園訓のもと、様々な経験を通して楽しい園生活を送ってほしいです。

対面式

4月11日(金)幼稚園部の子どもたちがホールに集まり、初めての顔合わせを行いました。Bクラスは“これからたくさん遊ぼうね”という思いを込めて「そうだったらいいのにな」を元気いっぱい歌いました。その後は、AクラスとCクラスが手を繋いで園内探検！お兄さん・お姉さんが優しくリードして、様々なお部屋を紹介したり、遊具での遊び方を教えたりしました。一つ大きくなった子ども達の頼もしい姿が見られました。

ふたば会会長から

「ちょっと待って」に思う　成長を待つという気持ち

会長　高橋　麻以子（A夏花）

近頃の我が子の口癖である「ちょっと待って」は育児中の私の口癖でもあります。忙しい時のママこっち来て！これ見て！や、朝の登園の時のもうお家でるよ！急いで！という場面で、子どもとこの言葉を言い合っている毎日です。
最近読んだ児童精神科医の方の著書の中に〝育児でたいせつな待つという気持ち〟についてのお話がありました。子どもは必ずよくなる方向へ成長してゆくものだから親があせらずいそがず、ゆっくり待ってあげる姿勢を持つこと。それが子どもへの信頼や愛を、子どもに最もわかりやすく伝えることになるそうです。
私も子どもを信じて「ちょっと待とう」という気持ちを持って育児をしようと思いました。そして、子ども達が楽しい園生活の中で安心して成長できるよう、ふたば会としても皆様のご協力を賜りながら活動していきたいと思います。
一年間宜しくお願いいたします。

学校法人　内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛岡幼稚園
〒020-0021
盛岡市中央通一―六―四七
TEL　六二二―二三〇一
理事長　坂本　洋